

魅力を伝え喜びを共有する福智スタイルの「おもてなし」

響合う幸せ



ただ迎えるだけでなく、まちの魅力を伝える…。実際にこなつてみた「観光モニターツアー」から、これまでよりさらに一歩進んだ「福智ならではの」「おもてなし」の姿が見えてきました。

初の観光ガイドで学ぶ

ただ目の前の人を思いやるだけでなく、まずは、せっかく訪れた人に町の魅力を伝え、感じてもらうこそ、心から満足いただけるおもてなし。そのためにはまず町の魅力を知り、いかに伝え、喜んでいただけるかがポイントになります。そんな仕組みづくりのきっかけとして本年度から取り組んでいる「観光ガイド養成講座」では、大分県豊後高田市の藤原ちず子さんをお招きして、そのノウハウを習得。農林水産省の助成を受け、実際に観光コースを設定し、11月24日にモニターツアーを実施しました。



国東半島観光案内人 藤原 ちず子さん

藤原さんは豊後高田を「昭和の町」として年間40万人が訪れる観光地へと変ぼうさせた案内人。地元の人や風土を生かした観光地づくりを応援しています。

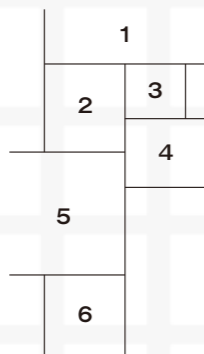
「観光客は現地での人とのふれあいも思い出にします。福智は観光資源だけでなく、豊かな風土に育まれた人材がたくさんいます。ぜひその方々の魅力を生かしていただきたい」と目を輝かせます。



福智町観光ガイド 澤田 寿代さん

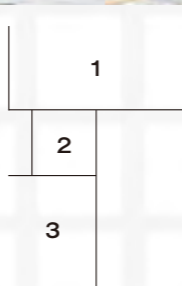
ツアーでは、地域交流を行っているOTTO(北九州市)から45人がモニターで来町。初ガイドでもてなした澤田寿代さん(赤池)は「堅苦しい歴史ではなく、資料にない情報や雑学を盛り込んで説明しました。最後にお礼の言葉をもたらしたとき、何とも言えない喜びを感じました」と、直後の感想を語りました。

観光の目的は単に「見る、泊まる旅」から、風土を味わう「暮らすような旅」へと変化。グリーンツーリズムやエコツーリズム、ヘルスツーリズムなど、その地にしかない新しい旅(ニューツーリズム)が求められています。幸い福智には自然や文化、温泉などの資源も豊富で、多彩な展開が可能です。ここに人の「おもてなしの心」が加われば、魅力はきっと倍増するはず。そして、もてなす側にも与えた喜びや満足の気持ちも返ってきます。本年度は、農家民泊のモデル実施も行い、さらに深く「福智スタイル」の「おもてなし」のカタチが研究される予定です。



ツアー① 福智パワースポットウォーキング

【コース行程】▶血山本窯跡と藩主ゆかりの屋敷跡を見学▶①熊谷無造窯で庭園と古上野鑑賞▶②福泉坊▶③中宮参道(見返坂)▶④福智中宮▶⑤白糸の滝▶⑥岩屋権現で梵字や大杉など密教と自然に触れる▶ふじ湯の里で温泉入浴。「方城すいとん御膳」と「ふくち☆リッチジェラート」に舌鼓。



ツアー② 上野焼絵付と興国寺座禅体験

【コース行程】▶ふれあい交流会館で協奏の庭と上野焼を鑑賞▶①上野焼絵付体験②力作の数々▶③興国寺で尊氏伝説と寺宝に触れ座禅体験▶ピストロみな川で上野焼フレンチランチを堪能▶ふじ湯の里で温泉入浴。「ふくち☆リッチジェラート」に舌鼓。



さらに高まった「福智」のイメージ



TOTO 株式会社 浜田 義典さん

今回「パワースポットウォーキング」に参加しました。観光ガイドから、地元の人にも知らないような情報を聞きながら、福智の伝統や文化、自然、食の魅力を味わうことができ、福智のイメージがさらに高まりました。今日は残念ながら悪天候でしたが、雨の中でも福智の魅力が十分に伝わる素敵なツアーで、特に雨にしたたる紅葉は絶景でした。次はぜひプライベートで訪れ、福智の魅力を余すことなく満喫したいです。